

センニンモ

Potamogeton maackianus A. Benn.

ヒルムシロ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

本県では従来も量的に少ない種類であるが、近年激減している。(現況:R-)

形態

常緑性沈水性多年草。托葉が葉の基部と合体して葉鞘となり、茎を抱く。類似種にリュウノヒゲモがある。本種は葉の幅が2~3mmで葉縁に細かな鋸歯があるが、リュウノヒゲモの葉の幅は1mm以下で、鋸歯はない。九州南部に本種とヤナギモの雑種とされるアイコセンニンモP.kyusyuensis Kadono et Wieglebを産するが、本種とは葉の先端が凸状にならないことで区別される。

国内分布

北海道、本州、四国、九州に分布。アジア東部に分布。

県内分布

従来は加賀中央区に分布。本調査では中能登、南加賀区から報告された。

生態など

葉はすべて沈水性で、草丈は通常30cm程度。

生育環境

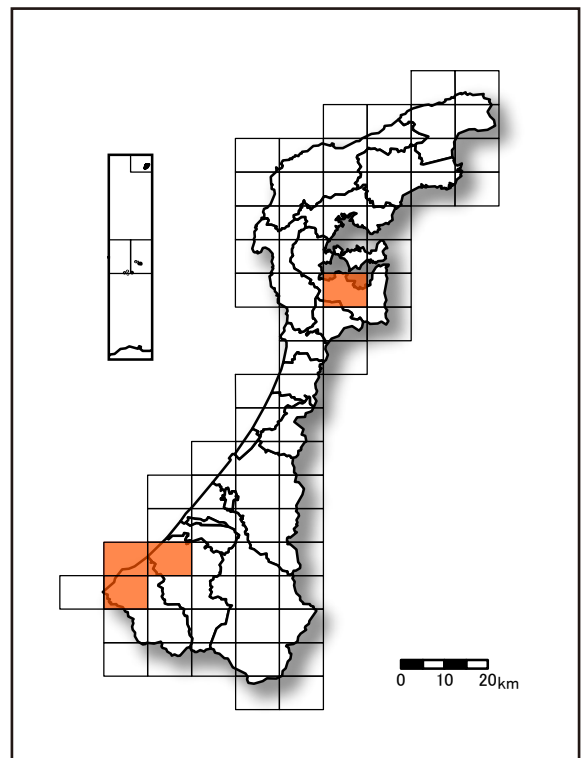
石川県では渦に生育する。

危険要因

湖沼開発、水質汚濁。



林 二良・2009年7月13日・中能登



県内の分布